過疎地域持続的発展市町村計画（変更）

市町村名 湯浅町

区 分	変 更 前 （頁、行）	変 更 後 （頁、行）	備 考
2 移住・定住・地域間交流の促進、人材育成	<p>(2) その対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 湯浅町暮らしのガイドブックや町ホームページ等、様々な媒体を通してタウンプロモーションを推進し、まちの魅力や移住・定住に関する情報発信の充実に努めます。 ○ 県との連携を図り、移住・定住の希望者への移住セミナーや相談会の充実に努めるとともに、定住促進奨励金制度を継続して行い、移住・定住を促進します。 ○ 住民主体の大学生の農業体験等をはじめ、滞在型まちづくりイベント参加の呼びかけや独自の加工品販売等の支援の充実に、関係人口・交流人口の創出に努めます。 ○ 町内会・老人クラブ・婦人会・子ども会等の各種団体の交流や地区の祭・自主防災活動等を通して、コミュニティ意識の高揚と地域の連帯感の強化を図れるよう支援します。 ○ 公民館、文化会館、教育集会所等の維持管理に努めるとともに、役場なぎホールや湯浅えき蔵地域交流センターの有効活用により、コミュニティ活動の充実に努めます。 ○ 本町の行財政状況を広報や町ホームページ等に掲載し、情報公開により行政の透明性の確保に努めます。 ○ 主要な行政施策課題について町ホームページから直接町長へ提言する「町長へのメール」の活用や各種計画策定の際のアンケート調査等、住民の意見や視点を踏まえた行政運営に努めます。 ○ 地域とのつながりを構築するため町職員を各地区に割り当てる等、住民と行政との協体制の整備に努め、住民と行政が一体となったまちづくりを推進します。 ○ 地域の学生や保護者、高齢者、成人、民間企業など幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指します。 	<p>(2) その対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 湯浅町暮らしのガイドブックや町ホームページ等、様々な媒体を通してタウンプロモーションを推進し、まちの魅力や移住・定住に関する情報発信の充実に努めます。 ○ 県との連携を図り、移住・定住の希望者への移住セミナーや相談会の充実に努めるとともに、定住促進奨励金制度を継続して行い、移住・定住を促進します。 ○ 住民主体の大学生の農業体験等をはじめ、滞在型まちづくりイベント参加の呼びかけや独自の加工品販売等の支援の充実に、関係人口・交流人口の創出に努めます。 ○ 町内会・老人クラブ・婦人会・子ども会等の各種団体の交流や地区の祭・自主防災活動等を通して、コミュニティ意識の高揚と地域の連帯感の強化を図れるよう支援します。 ○ 公民館、文化会館、教育集会所等の維持管理に努めるとともに、役場なぎホールや湯浅えき蔵地域交流センターの有効活用により、コミュニティ活動の充実に努めます。 ○ 本町の行財政状況を広報や町ホームページ等に掲載し、情報公開により行政の透明性の確保に努めます。 ○ 主要な行政施策課題について各種計画策定の際のアンケート調査等、住民の意見や視点を踏まえた行政運営に努めます。 ○ 地域とのつながりを構築するため町職員を各地区に割り当てる等、住民と行政との協体制の整備に努め、住民と行政が一体となったまちづくりを推進します。 ○ 地域の学生や保護者、高齢者、成人、民間企業など幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指します。 	<p>P11</p>
3 産業の振興	<p>(1) 現況と問題点</p> <p>オ 観光</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本町への観光客数は毎年増加し、令和元（2019）年には、約54万人となり年々増加していましたが、令和2（2020）年の新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、開催予定であったイベントの中止や宿泊予約のキャンセル等により観光客が激減し、大きな打撃を受けましたが、RVパークの整備やSNS活用等、情勢に合わせた観光戦略を行いました。 令和5（2023）年初頭より従来のイベントやPR活動を再開し、減少した観光客を取り戻すべく、取り組んでいく必要があります。 ● 豊かな自然や醤油・金山寺味噌をはじめとする食文化、伝建地区を中心とした歴史文化、四季折々のまつりなどの地域資源を活かした誘客に、より一層取り組む必要があります。 ● 平成29（2017）年4月には、『「最初の一滴」醤油醸造の発祥の地 紀州湯浅』が日本遺産として認定を受けました。この日本遺産認定を契機に、世界に誇れる本町のストーリーを国内外にPRし、魅力向上に努めていく必要があります。 ● 令和2（2020）年10月には、日本郵便㈱との包括連携協定を締結し、大阪・奈良への観光ポスターの掲示及び観光パンフレットの配架を行っており、今後も継続し取り組んでいく必要があります。また、西日本旅客鉄道㈱とは、広川町と3者で連携協定を締結し、JR湯浅駅を起点とした周遊観光推進に向け委員会を立ち上げ、誘客事業を実施しています。 	<p>(1) 現況と問題点</p> <p>オ 観光</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本町への観光客数は毎年増加し、令和元（2019）年には、約54万人となりましたが、令和2（2020）年の新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、開催予定であったイベントの中止や宿泊予約のキャンセル等により観光客が激減しました。コロナ禍の影響を受けながらも、RVパークの整備やSNS活用等、情勢に合わせた観光戦略を行いました。 令和5（2023）年初頭より従来のイベントやPR活動を再開し、減少した観光客を取り戻すべく、取り組んでいく必要があります。 ● 豊かな自然や醤油・金山寺味噌をはじめとする食文化、伝建地区を中心とした歴史文化、四季折々のまつりなどの地域資源を活かした誘客に、より一層取り組む必要があります。 ● 平成29（2017）年4月には、『「最初の一滴」醤油醸造の発祥の地 紀州湯浅』が日本遺産として認定を受けました。この日本遺産認定を契機に、世界に誇れる本町のストーリーを国内外にPRし、魅力向上に努めていく必要があります。 ● 令和2（2020）年10月には、日本郵便㈱との包括連携協定を締結し、大阪・奈良への観光ポスターの掲示及び観光パンフレットの配架を行っており、今後も継続し取り組んでいく必要があります。また、西日本旅客鉄道㈱とは、広川町と3者で連携協定を締結し、JR湯浅駅を起点とした周遊観光推進に向け委員会を立ち上げ、誘客事業を実施しています。 	<p>P13・14</p>
6 生活環境の整備	<p>(1) 現況と問題点</p> <p>エ 火葬場</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 湯浅斎場は昭和53（1978）年に、現在地に移転新築され、町営の火葬場施設として運営されてきました。建築後40年以上が経過して施設の老朽化が進むなか、必要な改修工事を行うことで適切な維持に努めています。 <p>オ 消防・防災施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 平成30（2018）年3月に「湯浅町地域防災計画」を改訂し、災害予防・災害応急対策・災害復旧・災害復興の各基本計画を定めて、災害から住民の生命、身体及び財産を守るための体制整備に取り組んでいます。 ● 本町の防災・消防体制は、行政が中心となり、湯浅広川消防組合、湯浅町消防団及び自主防災組織 	<p>(1) 現況と問題点</p> <p>エ 火葬場</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 湯浅斎場は昭和53（1978）年に、現在地に移転新築され、町営の火葬場施設として運営されてきました。建築後45年以上が経過して施設の老朽化が進むなか、令和元（2019）年度に策定した斎場整備基本構想を基に建替えを進めます。 <p>オ 消防・防災施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 平成30（2018）年3月に「湯浅町地域防災計画」を改訂し、災害予防・災害応急対策・災害復旧・災害復興の各基本計画を定めて、災害から住民の生命、身体及び財産を守るための体制整備に取り組んでいます。 ● 本町の防災・消防体制は、行政が中心となり、湯浅広川消防組合、湯浅町消防団及び自主防災組織 	

で構成しています。平成27（2015）年に湯浅広川消防組合消防本部と防災拠点の機能を備えた役場庁舎が青木区の高台に隣接して移転し、防災・消防体制の強化を図りました。

- 大規模な災害が発生した場合、地域防災力を高め、住民自らの力で町域を守る自助・共助の考え方が必要であり、沿岸地域を中心に、毎年各地区単位で南海トラフ巨大地震を想定した避難訓練を実施しています。令和5（2023）年度末現在、42地区に自主防災組織が結成されていますが、地域防災力の強化のため全地区での設立を目指しています。
- 大地震に備えるための公共施設の耐震化については、避難施設として利用する観点から、施設の耐用年数、倒壊危険度及び重要性により優先順位を付けて、計画的に耐震化を進めるとともに、適切な維持管理と更新に努めています。
- 大規模災害時に老朽化した家屋の倒壊や火災による避難経路の寸断予防のため、いわゆる特定空家等への措置を講じています。

で構成しています。平成27（2015）年に湯浅広川消防組合消防本部と防災拠点の機能を備えた役場庁舎が青木区の高台に隣接して移転し、防災・消防体制の強化を図りました。

- 大規模な災害が発生した場合、地域防災力を高め、住民自らの力で町域を守る自助・共助の考え方が必要であり、沿岸地域を中心に、毎年各地区単位で南海トラフ巨大地震を想定した避難訓練を実施しています。令和6（2024）年度末現在、45地区に自主防災組織が結成されていますが、地域防災力の強化のため全地区での設立を目指しています。
- 大地震に備えるための公共施設の耐震化については、避難施設として利用する観点から、施設の耐用年数、倒壊危険度及び重要性により優先順位を付けて、計画的に耐震化を進めるとともに、適切な維持管理と更新に努めています。
- 大規模災害時に老朽化した家屋の倒壊や火災による避難経路の寸断予防のため、いわゆる特定空家等への措置を講じています。

P26・27

(2) その対策

エ 火葬場

○ 湯浅斎場の維持・管理、整備を実施し、適正な運営に努めるとともに、令和元（2019）年度に策定した斎場整備基本構想を基に新たな施設の建設に向けて進めます。

(2) その対策

エ 火葬場

○ 湯浅斎場の維持・管理、整備を実施し、適正な運営に努めるとともに、令和元（2019）年度に策定した斎場整備基本構想を基に建替えを進めます。

P28

(3) 計 画

事業名	事業内容	事業主体	備考
(6)その他	総合センター（湯浅隣保館）改修等事業 改修・修繕・建替・統廃合等	湯浅町	
	野下・出水文化会館改修等事業 改修・修繕・建替・統廃合等	湯浅町	
	宮西文化会館改修等事業 改修・修繕・建替・統廃合等	湯浅町	
	横田文化会館改修等事業 改修・修繕・建替・統廃合等	湯浅町	
	地域福祉センター前公園整備事業	湯浅町	
	湯浅城公園再整備事業	湯浅町	

(3) 計 画

事業名	事業内容	事業主体	備考
(6)その他	総合センター（湯浅隣保館）改修等事業 改修・修繕・建替・統廃合等	湯浅町	
	野下・出水文化会館改修等事業 改修・修繕・建替・統廃合等	湯浅町	
	宮西文化会館改修等事業 改修・修繕・建替・統廃合等	湯浅町	
	横田文化会館改修等事業 改修・修繕・建替・統廃合等	湯浅町	
	地域福祉センター前公園整備事業	湯浅町	
	湯浅城公園再整備事業	湯浅町	
	共同浴場「宝栄湯」改修等事業 改修・修繕・建替等	湯浅町	

P31

7 子育て環境の確保、高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進

(2) その対策

イ 児童福祉施策・子育て支援

○ 湯浅町子育て世代包括支援センターに専任保健師を配置し、妊娠期から子育て期における切れ目のない支援に取組みます。

○ 児童虐待問題については、湯浅町要保護児童対策地域協議会を中心として児童虐待防止のネットワーク強化に努めます。

○ ひとり親同士の交流や子ども食堂の実施により、ひとり親への支援や子どもの居場所づくりを行います。

○ 保育士のスキル向上のため研修等を実施し、幼児教育の充実を図っていきます。

○ 湯浅町地域子育て支援センターを拠点として、家庭訪問や研修会等を通じて子育て相談体制の充実を図り、子育てネットワーク化を推進することにより、今後とも幅広い子育て支援業務を行い、子どもを産み育てやすい社会環境づくりに努めます。

○ 放課後児童クラブにおいては、全ての児童が放課後を安心安全に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう、適切な遊び場の提供と、年齢の異なる児童間の遊びを通じた交流を促進していきます。また、町内各施設については、老朽化や利用児童数を勘案しつつ改修・整備を進めています。

○ 延長保育・一時預かり事業等の保育の実施や広

(2) その対策

イ 児童福祉施策・子育て支援

○ 湯浅町こども家庭センターに専任保健師を配置し、妊娠期から子育て期における切れ目のない支援に取組みます。

○ 児童虐待問題については、湯浅町要保護児童対策地域協議会を中心として児童虐待防止のネットワーク強化に努めます。

○ 湯浅町こども計画を策定し、子どもまんなか社会の実現に向けて、子どもや若者が住み良い町づくりを目指します。

○ ひとり親同士の交流や子ども食堂の実施により、ひとり親への支援や子どもの居場所づくりを行います。

○ 保育所を認定こども園とし、子どもを預けやすい環境を整えるとともに、幼児教育の充実を図っていきます。それに伴い、保育士のスキル向上も求められるため、研修等を実施していきます。

○ 湯浅町地域子育て支援センターを拠点として、地域の子育て相談体制の充実を図ります。そして、各年齢児健診等、保健師とも連携をとりながら、子育てネットワーク化を推進することにより、今後とも幅広い子育て支援業務を行い、子どもを産み育てやすい社会環境づくりに努めます。

○ 放課後児童クラブにおいては、児童が放課後を

P34・35

域による病児・病後児保育の実施により、共働きやひとり親家庭等を支援します。

- 家庭環境に対する配慮や人権を大切にすることを育てる保育の推進及び充実を図るため、家庭支援推進保育士を配置し、児童の処遇向上と健全な育成に努めます。
- 出産祝い金制度や在宅育児支援事業給付金等について、要件の緩和や内容の拡充等を検討し、出産・育児に係る経済的負担の軽減を図ります。
- 乳幼児の医療費の負担を無料とする「乳幼児医療費助成制度」と、本町独自の施策で小学校入学時から18歳までの子どもを対象とした「子ども医療費助成制度」により、子育て家庭の経済的負担の軽減を図ります。
- ひとり親家庭の医療費の負担を無料とする「ひとり親家庭等医療費助成制度」により、ひとり親家庭の経済的負担の軽減を図ります。
- 障がいのある子どもに対して、国の手当のみではなく町の単独事業として「湯浅町障害児手当」を支給し、家庭の経済的負担の軽減を図ります。

安心安全に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう、適切な遊び場の提供と、年齢の異なる児童間の遊びを通じた交流を促進していきます。また、町内各施設については、老朽化や利用児童数を勘案しつつ改修・整備を進めています。

- 延長保育・一時預かり事業等の保育の実施や広域による病児・病後児保育の実施により、共働きやひとり親家庭等を支援します。
- 家庭環境に対する配慮や人権を大切にすることを育てる保育の推進及び充実を図るため、家庭支援推進保育士を配置し、児童の処遇向上と健全な育成に努めます。
- 出産祝い金制度や妊婦健診費の助成等について、要件の緩和や内容の拡充等を検討し、出産・育児に係る経済的負担の軽減を図ります。
- 乳幼児の医療費の負担を無料とする「乳幼児医療費助成制度」と、本町独自の施策で小学校入学時から18歳までの子どもを対象とした「子ども医療費助成制度」により、子育て家庭の経済的負担の軽減を図ります。
- ひとり親家庭の医療費の負担を無料とする「ひとり親家庭等医療費助成制度」により、ひとり親家庭の経済的負担の軽減を図ります。
- 障がいのある子どもに対して、国の手当のみではなく町の単独事業として「湯浅町障害児手当」を支給し、家庭の経済的負担の軽減を図ります。

(3) 計画

事業名	事業内容	事業主体	備考
(2) 過疎地域持続的発展特別事業 児童福祉 高齢者・障がい者福祉 健康づくり その他	緊急通報システム事業 安否確認等の民間委託 費用	湯浅町	在宅のひとり暮らしの高齢者、身体障がい者に対し、緊急通報装置を貸与することにより、急病、災害時の緊急時に迅速かつ適切な対応を図り、近隣に居住する者による支援活動をもって高齢者の福祉の増進を図るため
	家族介護用品支給事業	湯浅町	在宅の要介護高齢者に対し、紙おむつ等の介護用品を支給することにより、経済的負担の軽減を図るとともに介護の質的向上を図り、家族介護の支援に資することを目的とする
	重度心身障がい児者医療事業	湯浅町	重度心身障がい児者に対し医療費の一部を助成し、重度心身障がい児者の保健の向上に寄与し福祉の増進を図るため
	乳幼児・子ども医療事業	湯浅町	出生から18歳に達する年度末までの児童・生徒に対する医療費自己負担分を免除することによって、地域の経済支援に繋がる
	ひとり親家庭医療事業	湯浅町	ひとり親家庭を対象とした医療費自己負担分を免除することによって、地域の経済支援に繋がる
	老人医療事業	湯浅町	老人に対し、医療費を支給することにより、健康の保持と福祉の増進を図る
	がん患者医療用補正具 購入費助成事業	湯浅町	がん患者に対し医療用補正具購入費の一部を助成することにより、療養生活の質の向上と社会参加の促進の一助となることが期待できる
	带状疱疹ワクチン接種 費用助成事業	湯浅町	带状疱疹ワクチン接種費用の一部を助成することにより、接種者の経済的負担の軽減と健康の維持増進、当ウイルスによる合併症や後遺症治療に係る苦痛の軽減、医療費の抑制につながる

(3) 計画

事業名	事業内容	事業主体	備考
(2) 過疎地域持続的発展特別事業 児童福祉 高齢者・障がい者福祉 健康づくり その他	緊急通報システム事業 安否確認等の民間委託 費用	湯浅町	在宅のひとり暮らしの高齢者、身体障がい者に対し、緊急通報装置を貸与することにより、急病、災害時の緊急時に迅速かつ適切な対応を図り、近隣に居住する者による支援活動をもって高齢者の福祉の増進を図るため
	家族介護用品支給事業	湯浅町	在宅の要介護高齢者に対し、紙おむつ等の介護用品を支給することにより、経済的負担の軽減を図るとともに介護の質的向上を図り、家族介護の支援に資することを目的とする
	重度心身障がい児者医療事業	湯浅町	重度心身障がい児者に対し医療費の一部を助成し、重度心身障がい児者の保健の向上に寄与し福祉の増進を図るため
	乳幼児・子ども医療事業	湯浅町	出生から18歳に達する年度末までの児童・生徒に対する医療費自己負担分を免除することによって、地域の経済支援に繋がる
	ひとり親家庭医療事業	湯浅町	ひとり親家庭を対象とした医療費自己負担分を免除することによって、地域の経済支援に繋がる
	老人医療事業	湯浅町	老人に対し、医療費を支給することにより、健康の保持と福祉の増進を図る
	がん患者医療用補正具 購入費助成事業	湯浅町	がん患者に対し医療用補正具購入費の一部を助成することにより、療養生活の質の向上と社会参加の促進の一助となることが期待できる
	带状疱疹ワクチン接種 費用助成事業	湯浅町	带状疱疹ワクチン接種費用の一部を助成することにより、接種者の経済的負担の軽減と健康の維持増進、当ウイルスによる合併症や後遺症治療に係る苦痛の軽減、医療費の抑制につながる

小児インフルエンザワクチン接種助成事業	湯浅町	予防接種を実施することによって、安心して暮らせる持続可能な生活環境の構築に繋がる
結婚・妊娠・出産・育児支援事業	湯浅町	結婚から育児支援まで、切れ目のない支援を実施することによって、安心して暮らせる持続可能な生活環境の構築に繋がる
支えあいのふるさとづくり事業 一人世帯や高齢者世帯の見守り	湯浅町	見守り活動により、早期に生活の異変に気付く必要な支援につなげる等、地域の支え合いを推進する効果が将来に渡り見込まれる
高齢者等の移動支援事業	湯浅町	高齢者の生活圏における移動手段の確保のため
放課後児童クラブ運営事業	湯浅町	放課後において適切な遊びの場や生活の場を提供し、子どもの状況や発達段階を踏まえながら、子どもの健全な育成を図る

小児インフルエンザワクチン接種助成事業	湯浅町	予防接種を実施することによって、安心して暮らせる持続可能な生活環境の構築に繋がる
妊婦健診費の助成	湯浅町	妊婦健診に係る費用を全額助成し、自己負担をなくすことで、妊婦の健康管理と子育て世帯の経済的負担の軽減を図ることができる
結婚・妊娠・出産・育児支援事業	湯浅町	結婚から育児支援まで、切れ目のない支援を実施することによって、安心して暮らせる持続可能な生活環境の構築に繋がる
支えあいのふるさとづくり事業 一人世帯や高齢者世帯の見守り	湯浅町	見守り活動により、早期に生活の異変に気付く必要な支援につなげる等、地域の支え合いを推進する効果が将来に渡り見込まれる
高齢者等の移動支援事業	湯浅町	高齢者の生活圏における移動手段の確保のため
放課後児童クラブ運営事業	湯浅町	放課後において適切な遊びの場や生活の場を提供し、子どもの状況や発達段階を踏まえながら、子どもの健全な育成を図る
シルバー人材センター運営補助事業	湯浅町	高齢者の就業を通じて、生きがいや健康の増進を図るとともに活力ある地域社会づくりを推進する

P38・39

9 教育の振興

(1) 現況と問題点

ア 学校教育の充実
 ● 小中学校を対象に毎年度実施される「全国学力・学習状況調査」では、全国平均と比べて、本町は高い水準を保っていますが、今後も学力向上推進委員会等で取組みの評価及び情報共有を図りながら、各校での取組みを充実していく必要があります。
 ● 不登校の児童生徒数については減少には至っておらず、今後、更なる未然防止と早期発見・早期対応に向けた取組みを進めていく必要があります。
 ● 特別支援学級へ入級を希望する児童が多くなってきており、今後も多くなることが予想されるため、支援体制等について更なる充実を図っていく必要があります。
 ● ICT教育を推進するため各校における資機材の導入等を進めていますが、今後は授業での活用方法の検討と充実を図る必要があります。
 ● 本町において子どもたちが健やかに成長できるような面で青少年健全育成に努めていますが、子どもたちが小学校から中学、高等学校へと成長するにつれて、地域や社会への貢献活動に取組むことができる機会や場づくりが求められます。

(2) その対策

ア 学校教育の充実
 ○ 児童生徒の実態に即した具体的な目標及び成果指標を設定し、一人ひとりの学力の向上に取組むとともに、学力向上推進委員会等による取組みの評価や情報共有により、各校での取組みの充実を図ります。
 ○ 各小中学校のコミュニティ・スクール（学校運営協議会）では、地域の声を積極的に活かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めます。

(1) 現況と問題点

ア 学校教育の充実
 ● 小中学校を対象に毎年度実施される「全国学力・学習状況調査」では、全国平均と比べて、本町は高い水準を保っていますが、今後も学力向上推進委員会等で取組みの評価及び情報共有を図りながら、各校での取組みを充実していく必要があります。
 ● 不登校の児童生徒数については減少には至っておらず、今後、更なる未然防止と早期発見・早期対応に向けた取組みを進めていく必要があります。
 ● 特別支援学級へ入級を希望する児童生徒が多くなってきており、今後も多くなることが予想されるため、支援体制等について更なる充実を図っていく必要があります。
 ● ICT機器の整備が進み、授業での活用も進展していますが、今後より一層教師のスキル向上や、授業内容の充実、インフラの維持・更新が求められており、さらなるICT教育を推進していく必要があります。
 ● 本町において子どもたちが健やかに成長できるような面で青少年健全育成に努めていますが、子どもたちが小学校から中学、高等学校へと成長するにつれて、地域や社会への貢献活動に取組むことができる機会や場づくりが求められます。

(2) その対策

ア 学校教育の充実
 ○ 児童生徒の実態に即した具体的な目標及び成果指標を設定し、一人ひとりの学力の向上に取組むとともに、学力向上推進委員会等による取組みの評価や情報共有により、各校での取組みの充実を図ります。
 ○ 各小中学校のコミュニティ・スクール（学校運営協議会）では、地域の声を積極的に活かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めます。

P41

○家庭教育支援チーム「とらいあんぐる」を結成し、0から15歳までの子育て家庭に情報誌「すまいる」を配布しながら全戸訪問し、子育て家庭が孤立しないよう、未然防止、早期発見、早期対応に努めています。

○各小中学校において、副読本による町の沿革や歴史教育を推進します。また、小学校での醤油づくり体験や中学校での「ふるさと講座」等により、ふるさと教育を推進します。

○児童生徒の生活・学習習慣や生徒指導上の問題に対して、関係者をはじめSC（スクールカウンセラー）やSSW（スクールソーシャルワーカー）等の専門職とも連携し、未然防止と早期発見・早期対応に向けて取組みます。

○心身に障がいのある児童生徒については、個別の教育支援計画（つなぎ愛シート）を基に家庭とも情報共有を行いながら、特別支援教育の取組みの充実を図ります。

○各小中学校におけるICT教育環境の整備とICTを活用した教育内容の充実を進めます。

○各小中学校において、部落差別の解消に向けての人権教育を推進します。

○学校・家庭・関係機関等が連携して、課題を抱えた児童生徒や家庭の情報共有を図りながら、不登校やいじめ等の未然防止と早期発見・早期対応に努めます。

○青少年育成町民会議に賛同する団体で、毎月1日、15日を「あいさつ運動の日」とし、児童生徒の通学路付近であいさつ運動を展開します。

○高校生が小学生の学習を補助する補習授業や中学生が小学生と関わる機会の提供等により、ジュニアリーダーの育成に向けた活動に取組みます。

イ 生涯学習・集会所の充実

○教育集会所における各種教室をはじめ、ハイキングや子どもを対象とした学習・体験型の教室、講演会等の開催により、多世代が学び、交流できる機会を提供します。

○生涯学習の拠点となる公民館、教育集会所の維持管理を行うとともに、駅前複合施設「湯浅えき蔵」内の図書館や地域交流センターを積極的に活用し、生涯学習の場の充実を図ります。

○生涯学習講座の充実に加えて、開催情報を公民館だよりや広報、町ホームページ等で周知することにより、住民のニーズに応えられる講座・教室の実施に努めます。

○学習成果発表の機会と学習で得た知識や技能を地域還元できる機会の充実を図ります。

○差別をなくすための人権教育を推進します。

○湯浅町文化協会をはじめ、文化・芸術活動サークルや文化団体の育成と活動の支援に努め、文化・芸術意識の高揚を図ります。

○文化・芸術活動を発表する場を充実するとともに、各種文化・芸術活動に関する広報を行い、住民が文化・芸術に触れる機会を支援します。

○公民館、文化会館、教育集会所等の維持管理に努めるとともに、役場なぎホールや湯浅えき蔵地域交流センターの有効活用により、コミュニティ活動の充実を図ります。

ウ 体育施設等の充実

○湯浅町体育協会等各スポーツ団体とも連携を深めるとともに、スポーツ教室等への参加促進を図ります。

○スポーツ振興の拠点となる湯浅城公園スポーツ施設や体育館、プール等の施設・設備の維持管理に努めるとともに、利用者のニーズや時代背景にあったスポーツ振興が活発に行える施設の充実に努めます。

○子どもから大人までライフステージに応じたスポーツに親しめる環境をつくるため、各種スポーツの指導者の育成に努めます。

(3) 計画

事業名	事業内容	事業主体	備考
(1) 学校教育関連施設校舎	小中学校施設整備事業 湯浅小学校プール整備事業	湯浅町	
屋内運動場	湯浅中学校屋内運動場整備事業		
屋外運動場	湯浅中学校武道場整備事業		
水泳プール	湯浅中学校武道場整備事業		
その他	小中学校ICT整備事業等		

○家庭教育支援チーム「とらいあんぐる」を結成し、0から15歳までの子育て家庭に情報誌「すまいる」を配布しながら全戸訪問してあり、子育て家庭の「孤立」の未然防止、早期発見、早期対応に努めています。

○小中学校において、副読本や地域の人材を活用しながらふるさと教育の充実を図ります。

○児童生徒の生活・学習習慣や生徒指導上の問題に対して、関係者をはじめSC（スクールカウンセラー）やSSW（スクールソーシャルワーカー）等の専門職とも連携し、未然防止と早期発見・早期対応に向けて取組みます。

○心身に障がいのある児童生徒については、個別の教育支援計画（つなぎ愛シート）を基に家庭とも情報共有を行いながら、特別支援教育の取組みの充実を図ります。

○各小中学校におけるICT教育環境の整備とICTを活用した教育内容の充実を進めます。

○各小中学校において、部落差別の解消に向けての人権教育を推進します。

○学校・家庭・関係機関等が連携して、課題を抱えた児童生徒や家庭の情報共有を図りながら、不登校やいじめ等の未然防止と早期発見・早期対応に努めます。

○青少年育成町民会議に参画する団体で、毎月1日、15日を「あいさつ運動の日」とし、児童生徒の通学路付近であいさつ運動を展開します。

○高校生が小学生の学習を補助する学習支援教室や、学校・学年の枠を越えた児童生徒と交流を図る機会を提供します。

イ 生涯学習・集会所の充実

○各種教室をはじめ、子どもを対象とした学習・体験型の教室、講演会等の開催により、多世代が学び、交流できる機会を提供します。

○生涯学習の拠点となる公民館、教育集会所の維持管理を行うとともに、駅前複合施設「湯浅えき蔵」内の図書館や地域交流センターを積極的に活用し、生涯学習の場の充実を図ります。

○生涯学習講座の充実に加えて、開催情報を公民館リーフレットや広報、町ホームページ等で周知することにより、住民のニーズに応えられる講座・教室の実施に努めます。

○学習成果発表の機会と学習で得た知識や技能を地域還元できる機会の充実を図ります。

○差別をなくすための人権教育を推進します。

○湯浅町文化協会をはじめ、文化・芸術活動サークルや文化団体の育成と活動の支援に努め、文化・芸術意識の高揚を図ります。

○文化・芸術活動を発表する場を充実するとともに、各種文化・芸術活動に関する広報を行い、住民が文化・芸術に触れる機会を支援します。

○公民館、文化会館、教育集会所等の維持管理に努めるとともに、役場なぎホールや湯浅えき蔵地域交流センターの有効活用により、コミュニティ活動の充実を図ります。

ウ 体育施設等の充実

○湯浅町体育協会等各スポーツ団体とも連携を深めるとともに、各種スポーツ教室・大会等への参加促進を図ります。

○スポーツ振興の拠点となる湯浅城公園スポーツ施設や体育館、プール等の施設・設備の整備を進めるとともに、利用者のニーズや時代背景にあったスポーツ振興が活発に行える施設の充実に努めます。

○子どもから大人までライフステージに応じたスポーツに親しめる環境をつくるため、各種スポーツの指導者の育成に努めます。

(3) 計画

事業名	事業内容	事業主体	備考
(1) 学校教育関連施設校舎	小中学校施設整備事業 湯浅小学校プール整備事業	湯浅町	
屋内運動場	小中学校屋内運動場整備事業		
屋外運動場	湯浅中学校武道場整備事業		
水泳プール	湯浅中学校武道場整備事業		
その他	小中学校ICT整備事業等		

12 その他地域の持続的発展に関し必要な事項

(3) 計画

事業計画（令和3年～令和7年度）過疎地域持続的発展特別事業分

(3) 計画

事業計画（令和3年～令和7年度）過疎地域持続的発展特別事業分

事業名	事業内容	事業主体	備考
過疎地域持続的発展特別事業生活その他	老朽危険空家除却補助金	湯浅町	倒壊などのおそれがある空家の除却を促進し、町民の安全・安心で良好な住環境の向上が見込める
	町営住宅長寿命化計画策定業務	湯浅町	町営住宅の長寿命化を図り、入居者の居住性及び安全性の向上が見込める
	不用施設解体・撤去事業 酒屋ポンプ場横倉庫の解体・撤去	湯浅町	不要施設の除却を実施することによって、地域交流の場の活用に繋がる
過疎地域持続的発展特別事業 児童福祉 高齢者・障がい者福祉 健康づくり その他	緊急通報システム事業 安否確認等の民間委託費用	湯浅町	在宅のひとり暮らしの高齢者、身体障がい者に対し、緊急通報装置を貸与することにより、急病、災害時の緊急時に迅速かつ適切な対応を図り、近隣に居住する者による支援活動をもって高齢者の福祉の増進を図るため
	家族介護用品支給事業	湯浅町	在宅の要介護高齢者に対し、紙おむつ等の介護用品を支給することにより、経済的負担の軽減を図るとともに介護の質的向上を図り、家族介護の支援に資することを目的とする
	重度心身障がい児者医療事業	湯浅町	重度心身障がい児者に対し医療費の一部を助成し、重度心身障がい児者の保健の向上に寄与し福祉の増進を図るため
	乳幼児・子ども医療事業	湯浅町	出生から18歳に達する年度末までの児童・生徒に対する医療費自己負担分を免除することによって、地域の経済支援に繋がる
	ひとり親家庭医療事業	湯浅町	ひとり親家庭を対象とした医療費自己負担分を免除することによって、地域の経済支援に繋がる
	老人医療事業	湯浅町	老人に対し、医療費を支給することにより、健康の保持と福祉の増進を図る
	がん患者医療用補正具 購入費助成事業	湯浅町	がん患者に対し医療用補正具購入費の一部を助成することにより、療養生活の質の向上と社会参加の促進の一助となる事が期待できる
	带状疱疹ワクチン接種 費用助成事業	湯浅町	带状疱疹ワクチン接種費用の一部を助成することにより、接種者の経済的負担の軽減と健康の維持増進、当ウイルスによる合併症や後遺症治療に係る苦痛の軽減、医療費の抑制につながる
小児インフルエンザワクチン接種助成事業	湯浅町	予防接種を実施することによって、安心して暮らせる持続可能な生活環境の構築に繋がる	
結婚・妊娠・出産・育児 支援事業	湯浅町	結婚から育児支援まで、切れ目のない支援を実施することによって、安心して暮らせる持続可能な生活環境の構築に繋がる	

事業名	事業内容	事業主体	備考
過疎地域持続的発展特別事業生活その他	老朽危険空家除却補助金	湯浅町	倒壊などのおそれがある空家の除却を促進し、町民の安全・安心で良好な住環境の向上が見込める
	町営住宅長寿命化計画策定業務	湯浅町	町営住宅の長寿命化を図り、入居者の居住性及び安全性の向上が見込める
	不用施設解体・撤去事業	湯浅町	不要施設の除却を実施することによって、地域交流の場の活用に繋がる
過疎地域持続的発展特別事業 児童福祉 高齢者・障がい者福祉 健康づくり その他	緊急通報システム事業 安否確認等の民間委託費用	湯浅町	在宅のひとり暮らしの高齢者、身体障がい者に対し、緊急通報装置を貸与することにより、急病、災害時の緊急時に迅速かつ適切な対応を図り、近隣に居住する者による支援活動をもって高齢者の福祉の増進を図るため
	家族介護用品支給事業	湯浅町	在宅の要介護高齢者に対し、紙おむつ等の介護用品を支給することにより、経済的負担の軽減を図るとともに介護の質的向上を図り、家族介護の支援に資することを目的とする
	重度心身障がい児者医療事業	湯浅町	重度心身障がい児者に対し医療費の一部を助成し、重度心身障がい児者の保健の向上に寄与し福祉の増進を図るため
	乳幼児・子ども医療事業	湯浅町	出生から18歳に達する年度末までの児童・生徒に対する医療費自己負担分を免除することによって、地域の経済支援に繋がる
	ひとり親家庭医療事業	湯浅町	ひとり親家庭を対象とした医療費自己負担分を免除することによって、地域の経済支援に繋がる
	老人医療事業	湯浅町	老人に対し、医療費を支給することにより、健康の保持と福祉の増進を図る
	がん患者医療用補正具 購入費助成事業	湯浅町	がん患者に対し医療用補正具購入費の一部を助成することにより、療養生活の質の向上と社会参加の促進の一助となる事が期待できる
	带状疱疹ワクチン接種 費用助成事業	湯浅町	带状疱疹ワクチン接種費用の一部を助成することにより、接種者の経済的負担の軽減と健康の維持増進、当ウイルスによる合併症や後遺症治療に係る苦痛の軽減、医療費の抑制につながる
小児インフルエンザワクチン接種助成事業	湯浅町	予防接種を実施することによって、安心して暮らせる持続可能な生活環境の構築に繋がる	
妊婦健診費の助成	湯浅町	妊婦健診に係る費用を全額助成し、自己負担をなくすことで、妊婦の健康管理と子育て世帯の経済的負担の軽減を図ることができる	

支えあいのふるさとづくり事業 一人世帯や高齢者世帯の見守り	湯浅町	見守り活動により、早期に生活の異変に気づき必要な支援につなげる等、地域の支え合いを推進する効果が将来に渡り見込まれる
高齢者等の移動支援事業	湯浅町	高齢者の生活圏における移動手段の確保のため
放課後児童クラブ運営事業	湯浅町	放課後において適切な遊びの場や生活の場を提供し、子どもの状況や発達段階を踏まえながら、子どもの健全な育成を図る

結婚・妊娠・出産・育児支援事業	湯浅町	結婚から育児支援まで、切れ目のない支援を実施することによって、安心して暮らせる持続可能な生活環境の構築に繋がる
支えあいのふるさとづくり事業 一人世帯や高齢者世帯の見守り	湯浅町	見守り活動により、早期に生活の異変に気づき必要な支援につなげる等、地域の支え合いを推進する効果が将来に渡り見込まれる
高齢者等の移動支援事業	湯浅町	高齢者の生活圏における移動手段の確保のため
放課後児童クラブ運営事業	湯浅町	放課後において適切な遊びの場や生活の場を提供し、子どもの状況や発達段階を踏まえながら、子どもの健全な育成を図る

(注) 区分欄には、市町村計画の項目に合わせてその項目を記入のこと。